

## 基本理念

安全で安心できる水を確保し、安定して利用できる仕組みをつくり、  
水の恵みを将来にわたって享受することができる社会を目指す

【実行にあたっての考え方】 **幅を持った社会システムの構築** : いかなる事態が生じても、柔軟かつ臨機に、包括的に対処することができること

## 改革のポイント

1. **低頻度・高リスクへの対応** : 地震等大規模災害やゼロ水(危機的な渇水)等の発生時に、**最低限必要な水を確保**
2. 国民の視点に立った**重層的展開**: **健全な水・エネルギー・物質循環系の構築**、**持続的な水利用**、**教育・普及啓発等**に対する**国民の要請の高まり**に国民の視点に立って的確にこえる
3. **国際貢献と海外展開** : 国民の利益の増進に結びつく世界の水問題解決に向けた積極的な**国際貢献**と水関連技術の**海外展開**の一層の推進

## 具体的な取組

### 1. 安全・安心水利用社会の構築

- (1) **危機時**(地震等大規模災害)の**必要な水**の確保
- (2) 水インフラの**老朽化**への対応
- (3) 気候変動リスクへの**適応策**
- (4) **ゼロ水**(危機的な渇水)への対応
- (5) **水需給バランス**の確保
- (6) 安全で**おいしい水**の確保

### 2. 持続的水利用社会の構築

- (1) 節水型社会の構築と**水利用の合理化**
- (2) 水資源・国土管理資源・エネルギー資源の観点からの**地下水の総合的管理**
- (3) 雨水・再生水の利用
- (4) 水源地域への**感謝に根差した振興対策**

### 3. 健全な水・エネルギー・物質循環に立脚した社会の構築

- (1) 流域における**健全な水循環系の構築**
- (2) **低炭素社会**に向けた取組
- (3) 水環境・生態系の**保全・再生**

### 4. 水の「恵み」に感謝し「災い」に柔軟に対応できる社会風土・文化の醸成

- (1) 「**水文化**」に日常的に触れる**機会**を生むなど、**地域の状況に応じた教育**の具体的方策を検討

### 5. 世界の水問題解決と国際市場獲得に向けた展開

- (1) 国際機関等と連携しつつ、一層効果的な支援の実施／「**チーム水**・日本の活動など**世界の水問題解決と国際市場の獲得**を推進

「水資源開発の促進」から「水の安定的な供給」へのさらなる進化